

## ★通常事業評価シート【R7年度実施事業／学校教育部人権教育課による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	特別支援教育事業 (他課への一部予算 分任事務)	子どもの個性や能力が豊 かに育まれている	障害児に対する適切な教育の場と 教育内容を保障するため、児童・ 生徒、学校及び教職員に対して指 導・支援等を行う。	支援員、介助員、看護師を配置し児童 生徒保護者への支援を行った。支援相 談388件実施。教職員向け研修を実施 した。	4：大いに近づいた	継続	245,718	17,359	263,077	支援相談の件数が増加しており、発 達検査を望んでいる方が待機する状 況になっている。支援が必要なタイ ミングで対応できていない。	発達相談員さんの人員の確保と時間 確保が必要である。	
2	人権教育・人権啓発 事業	平和で、多様な価値観が 尊重され、他者への理解 が促進し、自分らしく生 活できる環境が整ってい る	人権意識の高揚を図るため、園 児・児童・生徒に対する人権に関 する教育の充実を図るとともに、 市民全般への意識啓発を推進す る。	人権を守る作品展を実施し、1376人の 来場者があった。子どもたちの感覚で 人権問題をとらえた作品を、多くの 方々にご覧いただき、人権意識の啓発 を推進することができた。	4：大いに近づいた	継続	11,710	15,102	26,812	児童生徒だけでなく、保護者など広 範囲の人権啓発の推進。	「人権を考える市民の集い」の周知 方法や講演内容などの充実。	
3	人権教育研究事業	平和で、多様な価値観が 尊重され、他者への理解 が促進し、自分らしく生 活できる環境が整ってい る	人権尊重の教育を効果的に推進す るため、市立全幼稚園・小学校・ 中学校・高等学校から人権教育担 当者が集まり、人権教育に関する 研究を行う。	教職員を対象とした人権教育研修を3 回、人権教育担当者会を2回実施し、教 育現場における幼児・児童・生徒の人 権意識の高揚と実践力の向上につなげ ることができた。	4：大いに近づいた	継続	1,543	1,852	3,395	教職員の各人権課題における知的理 解と人権感覚の向上に努め、継続的 に研鑽を重ねる必要がある。	研修内容を充実させるため、当事者 との出会いや必要性の高いテーマに 設定する。	
4	人権教育推進計画推 進事業	平和で、多様な価値観が 尊重され、他者への理解 が促進し、自分らしく生 活できる環境が整ってい る	人権尊重教育の充実を図るため、 人権教育推進計画の企画、調整及 び進行管理を行う。	各学校園に人権教育推進計画の作成と 提出を依頼した。夏季頃には全学校園 にヒアリングを実施し、進捗状況を把 握した。年度末には、人権教育推進状 況調査を実施し、取り組みを振り返る 機会としている。	4：大いに近づいた	継続	-	3,763	3,763	平和教育の充実や外国籍の児童生徒 の増加による多文化共生教育の推 進、性の多様性の理解を深めるため の取り組みを充実させる必要がある。 。	計画、実行、評価、改善の流れを意 識し、課題や推進計画の目的を明確 にする。	
5	人権教育課管理事務 事業	持続可能で信頼される行 政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行す るため、庶務全般を効率的に行 う。	備品の購入や、公用車の活用を行い、 課内・部内の円滑な運営を行えた。	4：大いに近づいた	継続	364	9,952	10,316	今年度と同様に、円滑な業務の運営 を行えるよう計画していくことが必 要。	課内・部内での業務状況の報告、連 絡を密に行う。	
6												
7												
8												
9												
10												
11												